

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年 4月19日	
(あて先) 宇都宮市長 佐藤 栄一	
提出者	住 所 東京都新宿区下宮比町2-1 氏 名 株式会社ガイアート 関東支店 執行役員支店長 根本 宏之 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-5261-9311
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ガイアート 関東支店 宇都宮市内工事
事業場の所在地	栃木県宇都宮市内
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業-総合工事業
②事業の規模	市内完成工事高 令和4年度 293百万円
③従業員数	当該部署 2名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	道路舗装工事 がれき類 (コンクリート塊・アスファルトコンクリート塊) →再生処理業者に委託して再生骨材・砕石として再資源化 廃プラ、木くず →再生処理業者に委託して再生建材等として再資源化 汚泥 →再生処理業者に委託して改良土等として再資源化

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
(管理体制図)						
支店産業廃棄物処理責任者						
作業所長						
作業所担当者						
		統括産業廃棄物処理管理者 収集運搬業者、処分業者新規登録業者の承認及び登録業者の確認、委託契約の確認、実績確認、各種教育計画の作成及び実施 産業廃棄物管理者 処理計画の承認、委託契約の作成、実施確認、作業所教育の計画及び実施 産業廃棄物担当者 処理計画作成、実施責任者、処分地調査・確認、電子マニフェストの運用確認、紙マニフェストの発行・回収確認				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラ	木くず	混合
	排 出 量	1,064.7 t	2.7 t	2.4 t	3.3 t	6.2 t
	（これまでに実施した取組） 令和4年度においては、事業所毎に排出抑制計画を事前に立案し、実施した。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類				
	排 出 量	1,000 t	t			
	（今後実施する予定の取組） 工事の内容により、工法変更等を発注者と協議し出来る限り廃棄物の発生の低減を図るとともに事業所毎の排出抑制計画を事前に立案する。					
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 令和4年度の工事は、がれき類他を直接中間処理場へ搬出し再生資源化を図った。					
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工事により、建設混合廃棄物が多少発生するので各種類ごとに分別し、再生資源化工場へ搬出し再生資源化させるよう教育及び指導する。					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（令和 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t				t
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t				t
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラ	木くず	混合
	全処理委託量	1,064.7 t	2.7 t	2.4 t	3.3 t	6.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,064.7 t	2.7 t	2.4 t	3.3 t	6.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 当社では、収集運搬業者・処理業者を登録し、選定している。 工事着手前に処理施設の確認を実施している。 尚、登録業者の実績調査と業者確認を年1回行うと共に新規業者についても支店に申請させ、内容確認・現地調査等を実施している。					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類				
	全処理委託量	1,000.0 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>工事の種類・内容により産業廃棄物の発生種類・数量等が増減されるが分別により再生利用業者（中間処理施設）への100%搬入を実施していく。</p> <p>今後も収集運搬・処理業者の登録業者及び新規登録業者の確認を徹底し、適正処理を確実に実施する。</p>					
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。